

劇画 景山 朗
原作 八幡 萬十郎



～昭和ヤリ上がり伝～

4

な

ま

ず

なまず

人物紹介

何もなかったあの時代——

さえない男がちよつとの運と大きな性意で突き進む!!

美代

なまずの妻。奥ゆかしいのにエロい理想的な女性。木下美代にそっくり。



なまずや
鯨谷シゲル（なまず）
S・Nグループ社長。人並み外れたデカチンの持ち主。



緑川マコト

なまずが住んでるアパートの隣人。電動パイプの開発者でなまずを慕っている。



木下美代

なまずの中学時代の同窓生で初恋の人。





目次

- 004…第三十一話 チン入社員
- 026…第三十二話 モデル選交会
- 048…第三十三話 悶〜レッツ
- 070…第三十四話 マンモス団痴
- 092…第三十五話 ラ痴オ体操
- 114…第三十六話 カ身がない
- 136…第三十七話 記憶喪膾
- 154…第三十八話 おCかけ
- 172…最終話 おわか隸

第三十一話／チン入社員



平成〇〇年度

S・Nグループ入社式

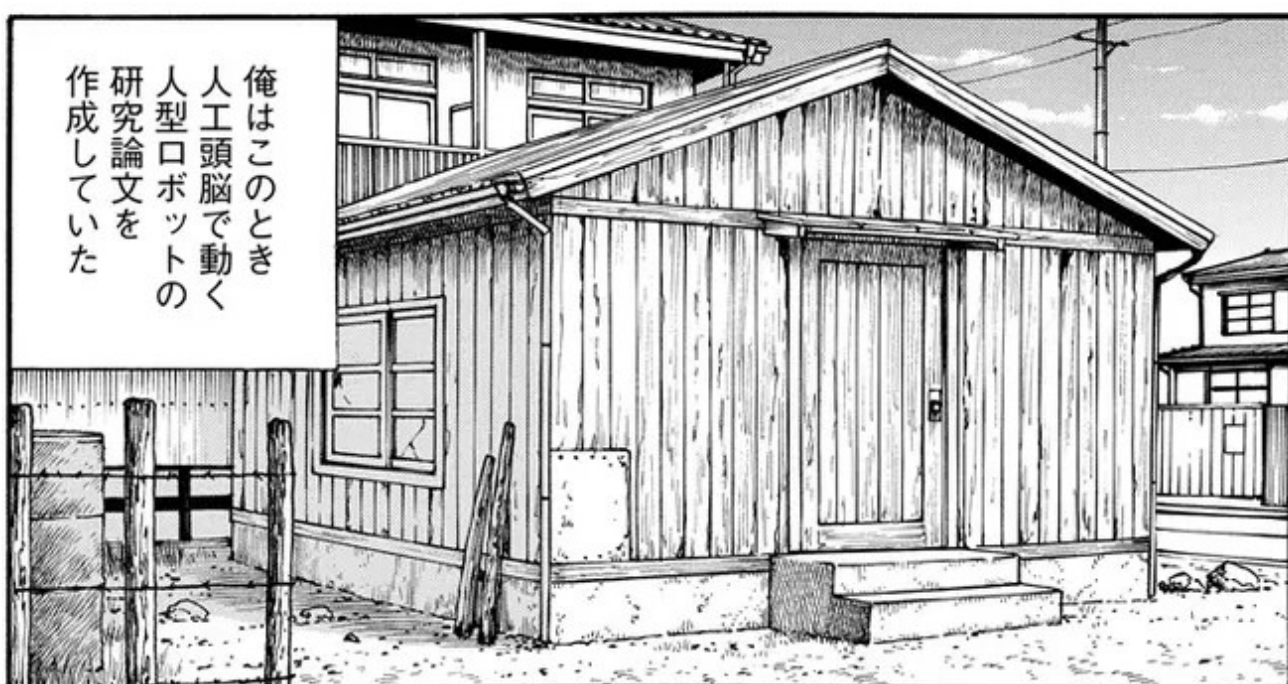








あのころ
右肩あがりだった
パイプの売れゆきも
オイルショックの
影響で厳しい状況に
なっていた……



俺はこのとき
人工頭脳で動く
人型ロボットの
研究論文を
作成していた

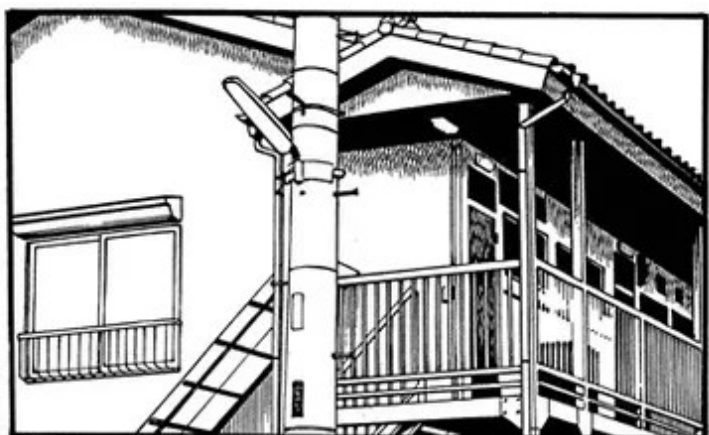
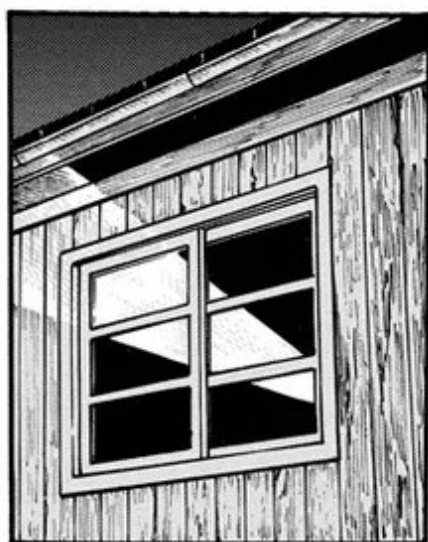
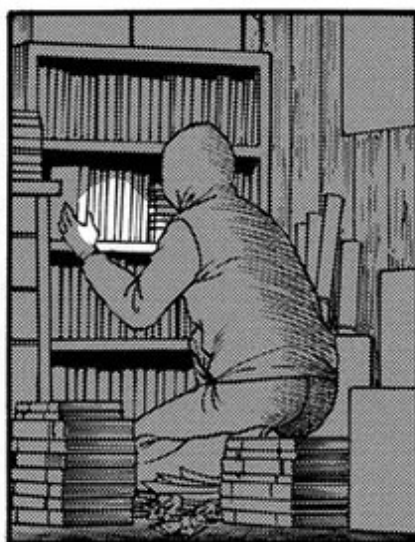


とにかく金が
必要だった……

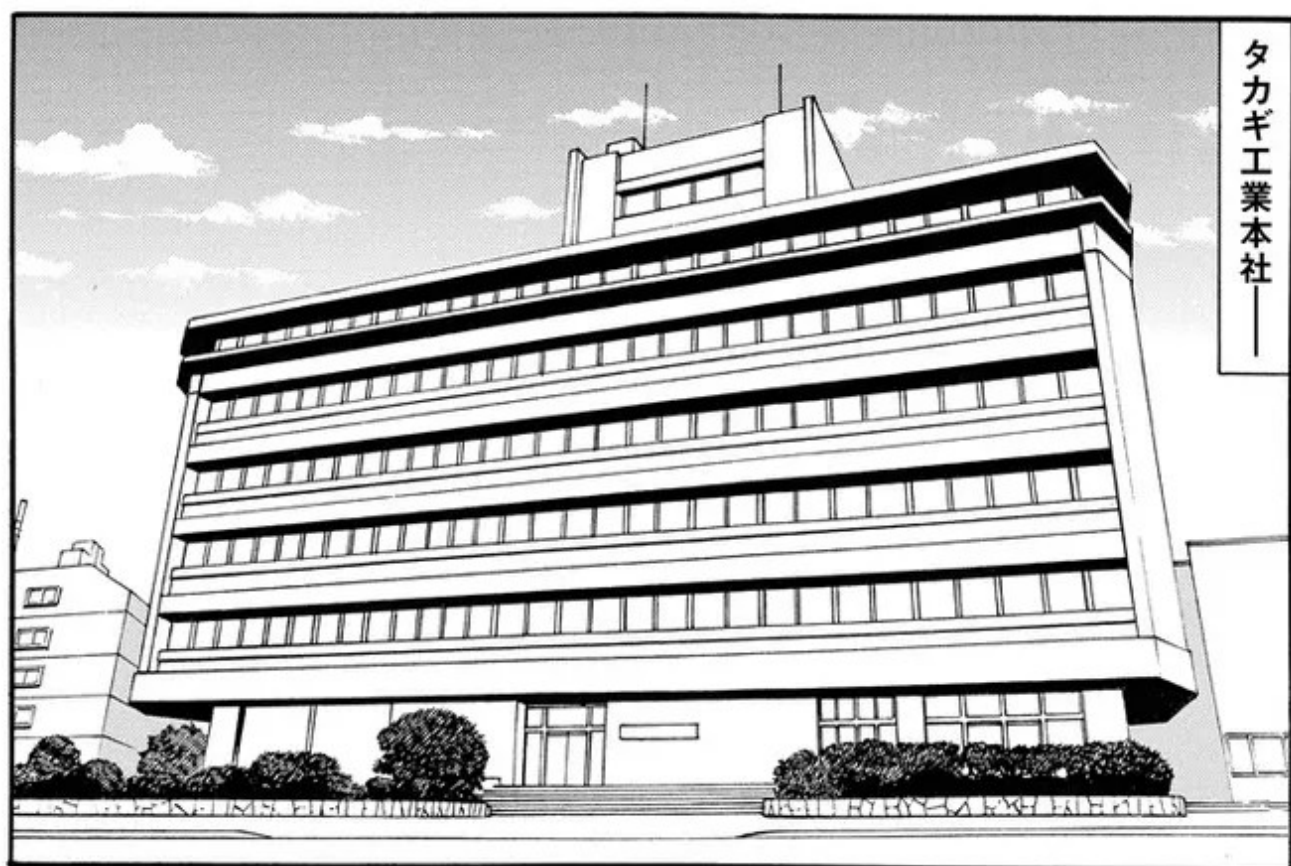
これをどこかの
企業が買って
くれれば……



ようやくその論文も
完成し 発表の場を
探していた







あなたが卓越した
才能の持ち主で
あることは存じ
あげております！



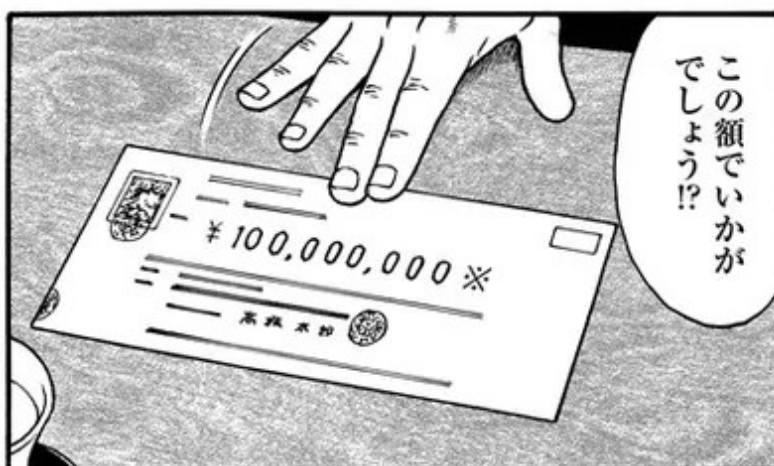
そう
ですか！

わが社は自動車の
大量生産にとまない
オートメーションを
考えております

そこであなたの
精密ロボットの
高度な技術を
わたしどもに提供
していただきたい



この額でいかが
でしょう！？



一億

……!?



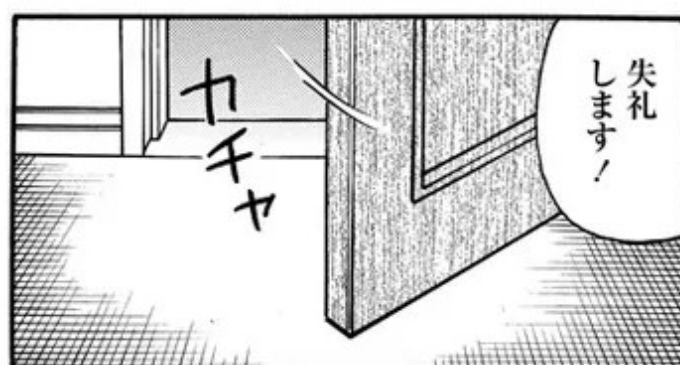
たかが自動車の
製造ロボットにこの
額はちよろいや……

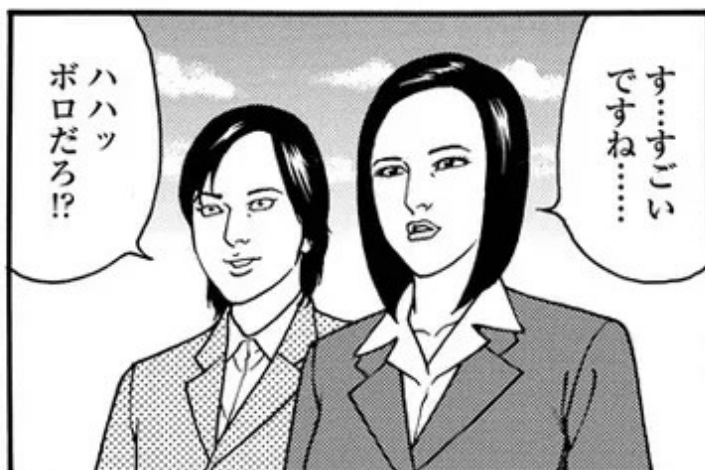


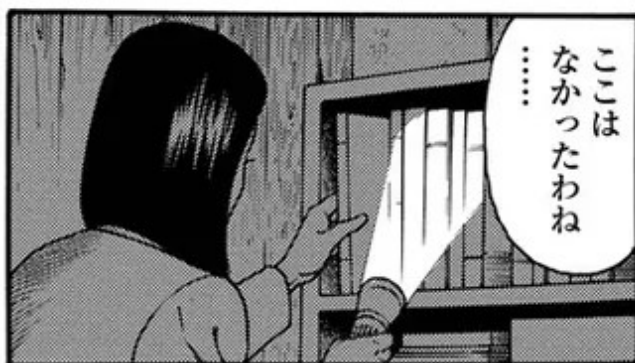
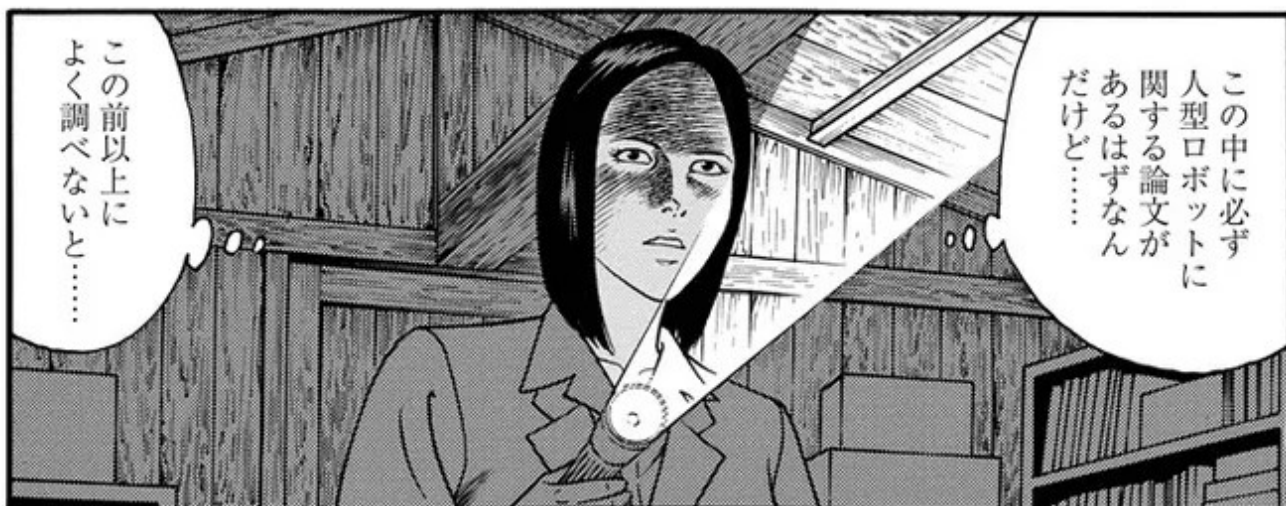
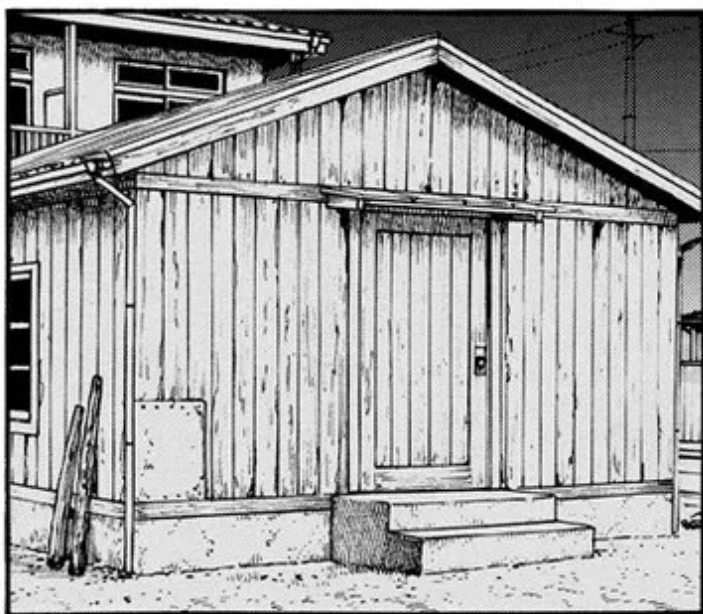
わかりました
お引きうけ
します！

おお！
ありがとうございます！

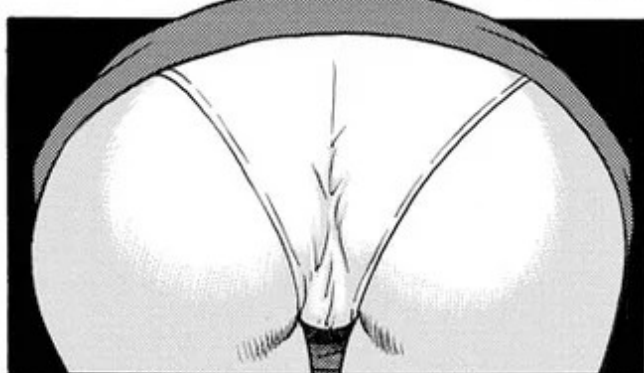


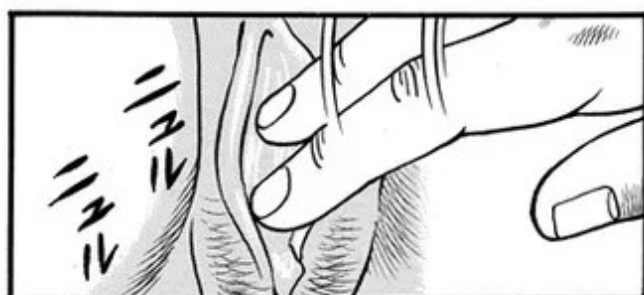






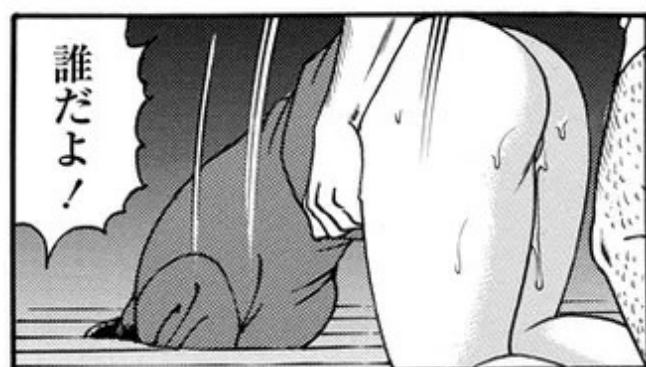






すげえ
マコト
すげえよ!











でもいっ
つメチャク
チャにし
て~~~~っ!!



い...いくつ
いくいくっ!!

ああん
もう
ダメえ!!



ああ——っ
いっちゃう
っ!!

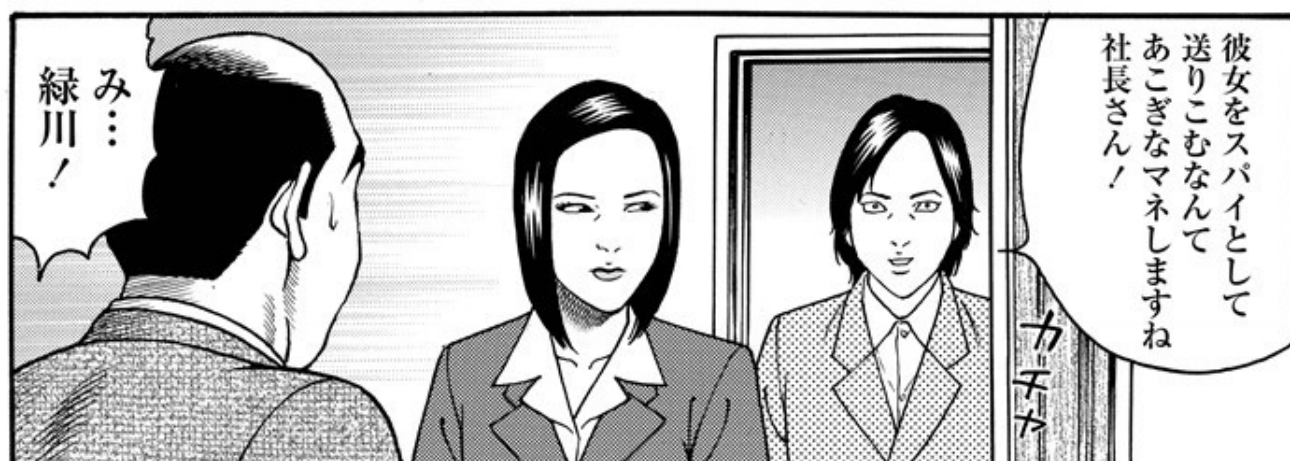
人工頭脳搭載人型ロボット
世界初の研究論文を発表
天才科学者緑川マコト氏
これは
どういう
ことだ!?



タカギ工業本社——



わたしをクビに
していただいて
けっこうです!



なっ

それと
この小切手は
お返しします!



第三十二話／モデル選交会

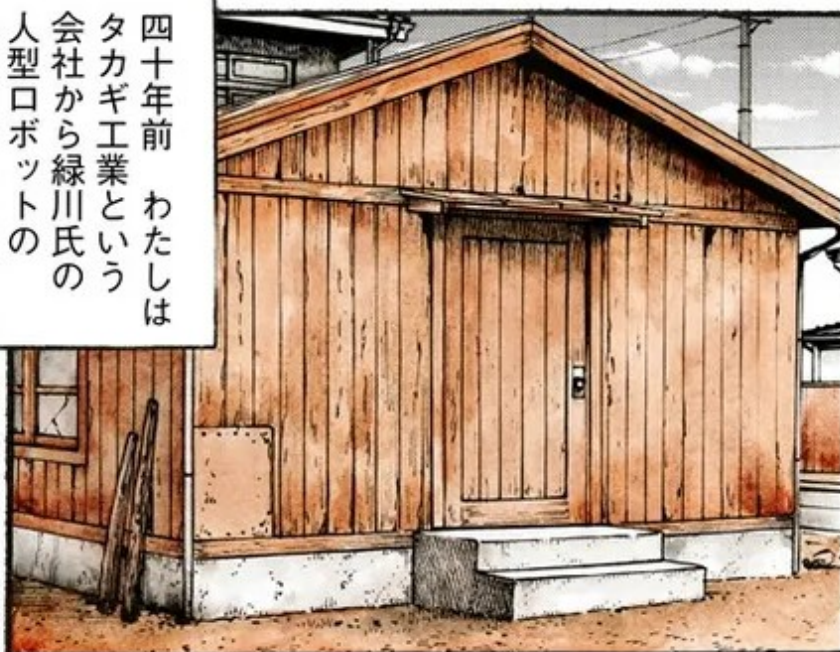








四十年前 わたしは
タカギ工業という
会社から緑川氏の
人型ロボットの
論文を盗みだすため
派遣されました……



ああっ
いくっ!!

あえなく
失敗……



しかし
論文を盗む
ところを社長に
見つかり……

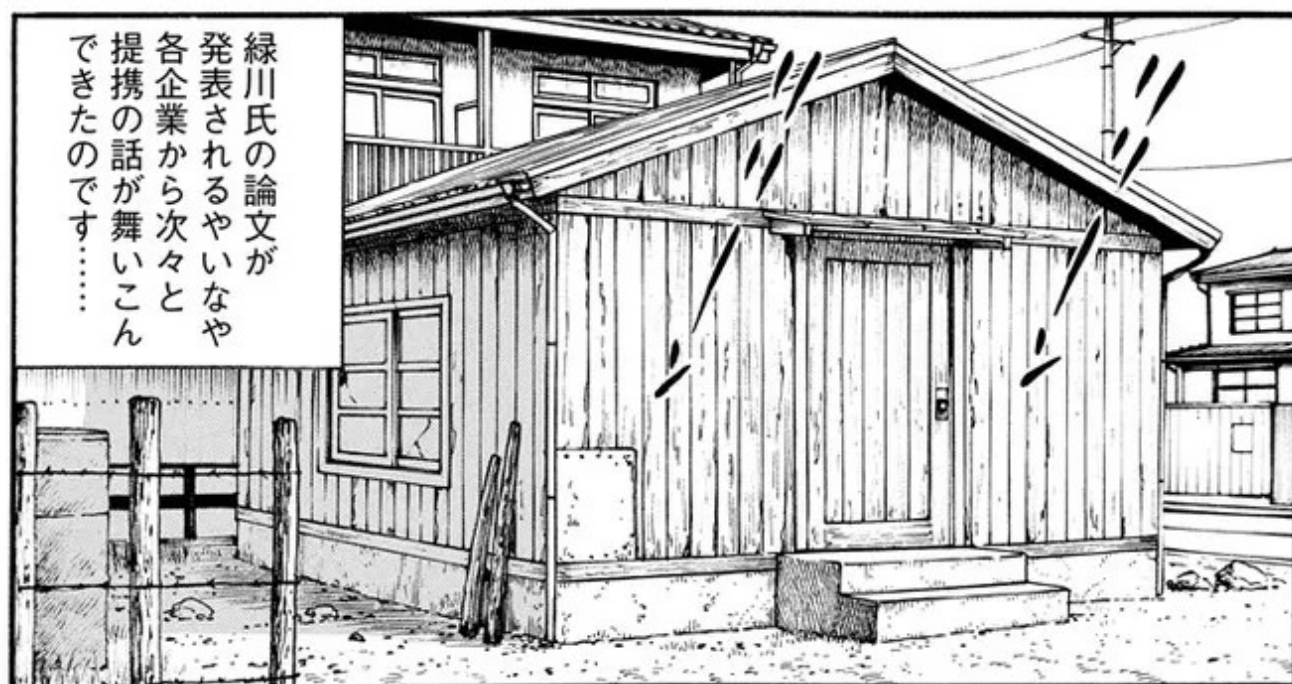
き……気持ち
いいっ……



は……
はい!

さながら
相楽さん
ウチの会社で
働いてくれ
ないかな!?

タカギ工業の手口に
怒った緑川氏は
契約を破棄し
逆にわたしを雇って
くれたのでした……



緑川氏の論文が
発表されるやいなや
各企業から次々と
提携の話が舞いこん
できたのです……



はい
緑川です！

ええ
では一度
お会いして
……

すごいですね
緑川さん

どの会社も
好条件での
提携を提示して
きてます！

なア
マコト

人型オナホルの
ほうはどうなっ
てるんだよ！？

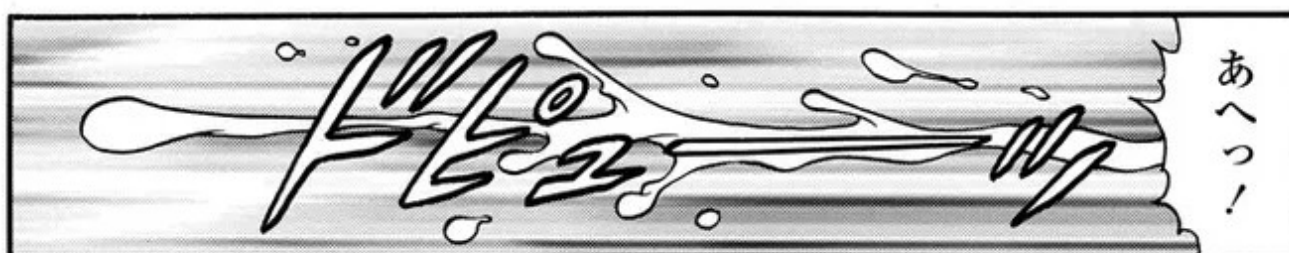


ああ
これでやっと
金に不自由
しなくなる！







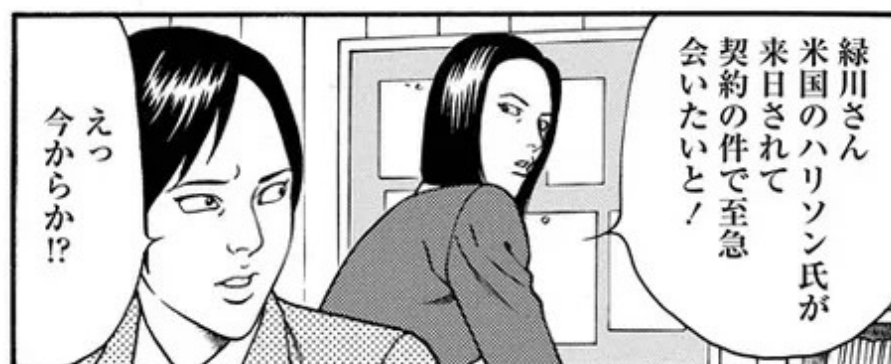


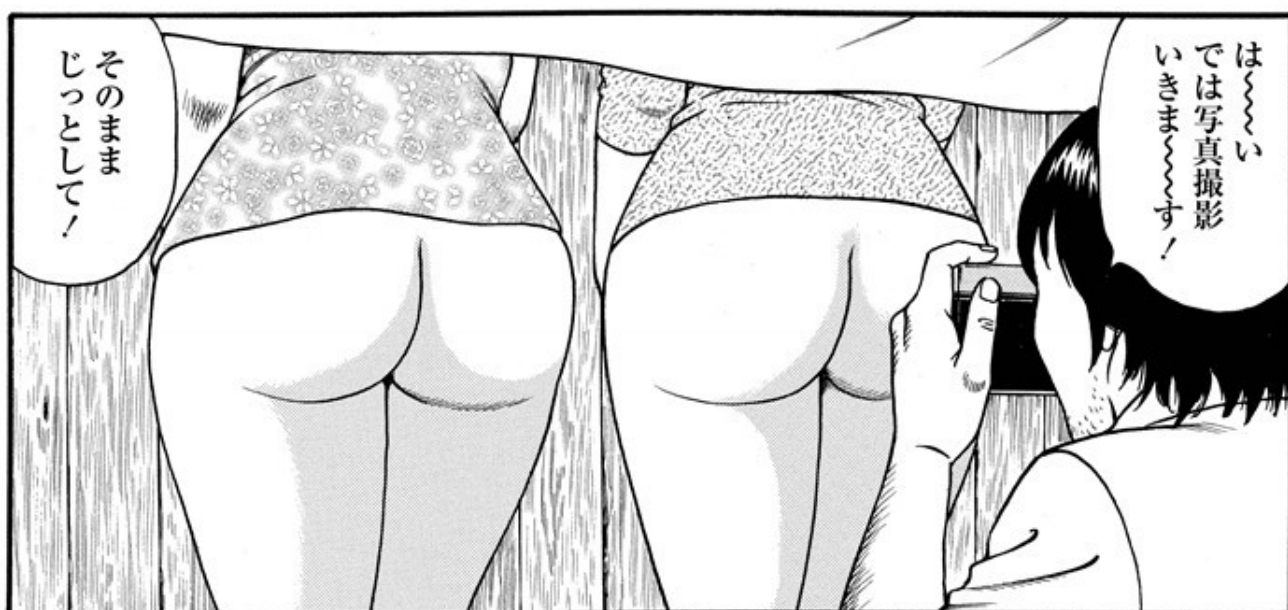


























第三十三話／悶～レツ







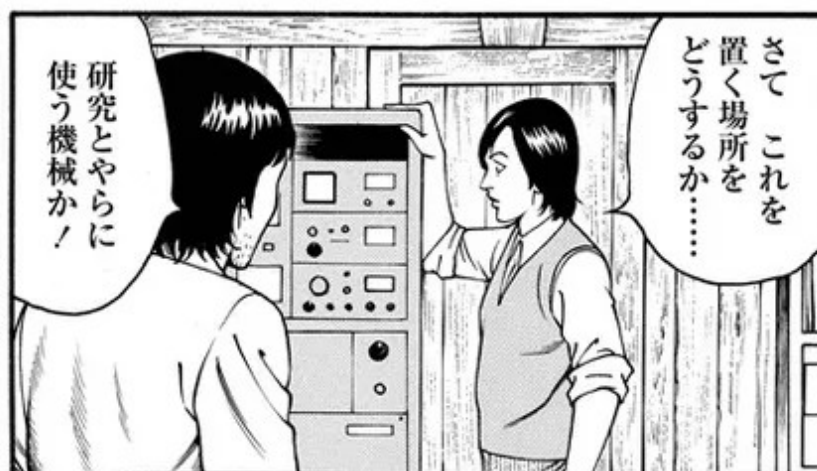




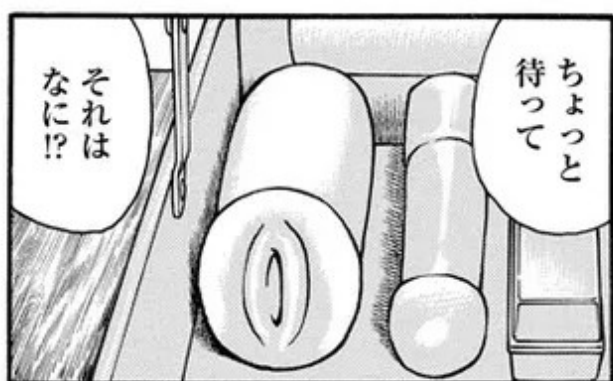












男性用……!!

自分かつてな
主人にはこれで
充分じゃない!?

それは
どうやって
使うの!?

いや どうって
立ったモノを
入れて……

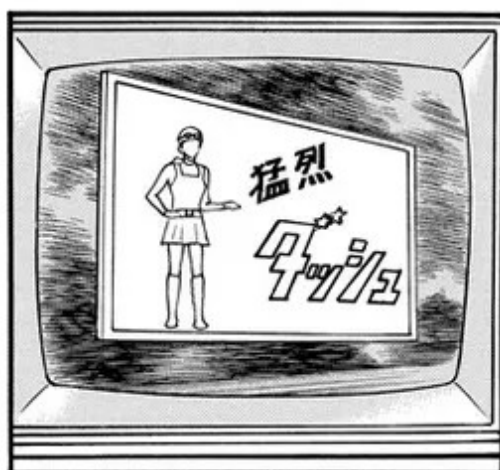
口で説明するより
実演してみせて!

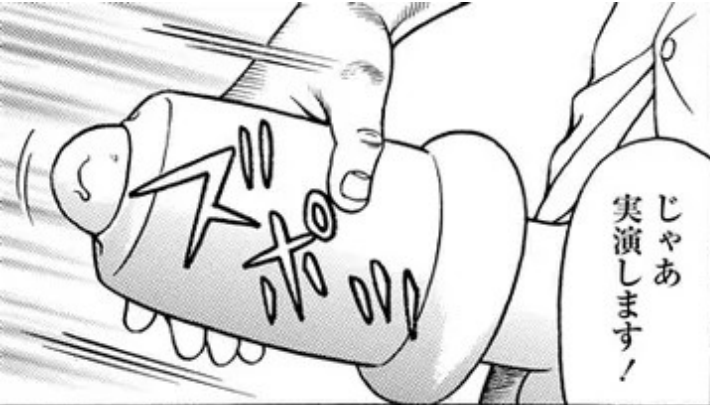
人前でやると
なると緊張
するな

つていうか
これ売り物じゃ
ないし……

まあ 女性の
アソコだから
舐めたり……







ああん
すごい……



お…奥さん
気持ちいい!



夫の三倍 いや
四倍はあるわ……



ああ もう
わたし

おかしく
なりそう……



こんなのが
入ったら
どうなっちゃう
のかしら……!?





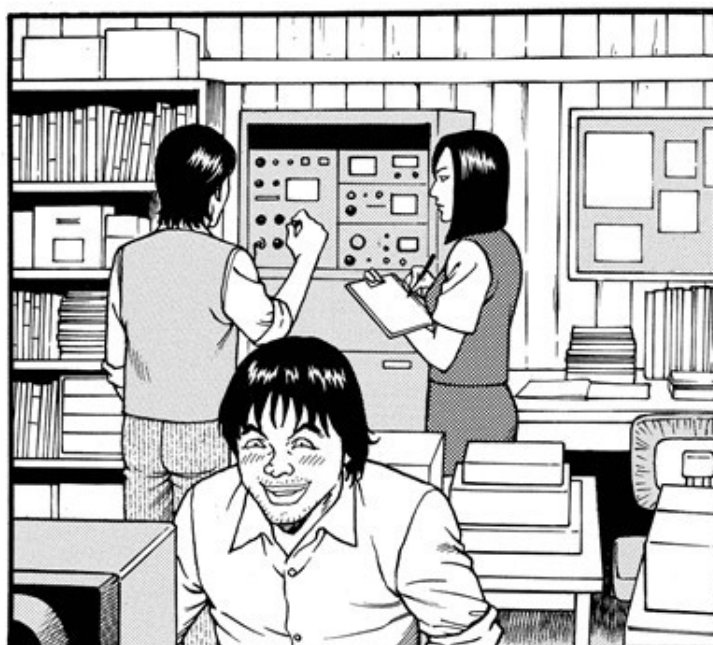








もうダメッ
い：いっちゃう！
いっちゃう——っ！！



第三十四話／マンモス団痴

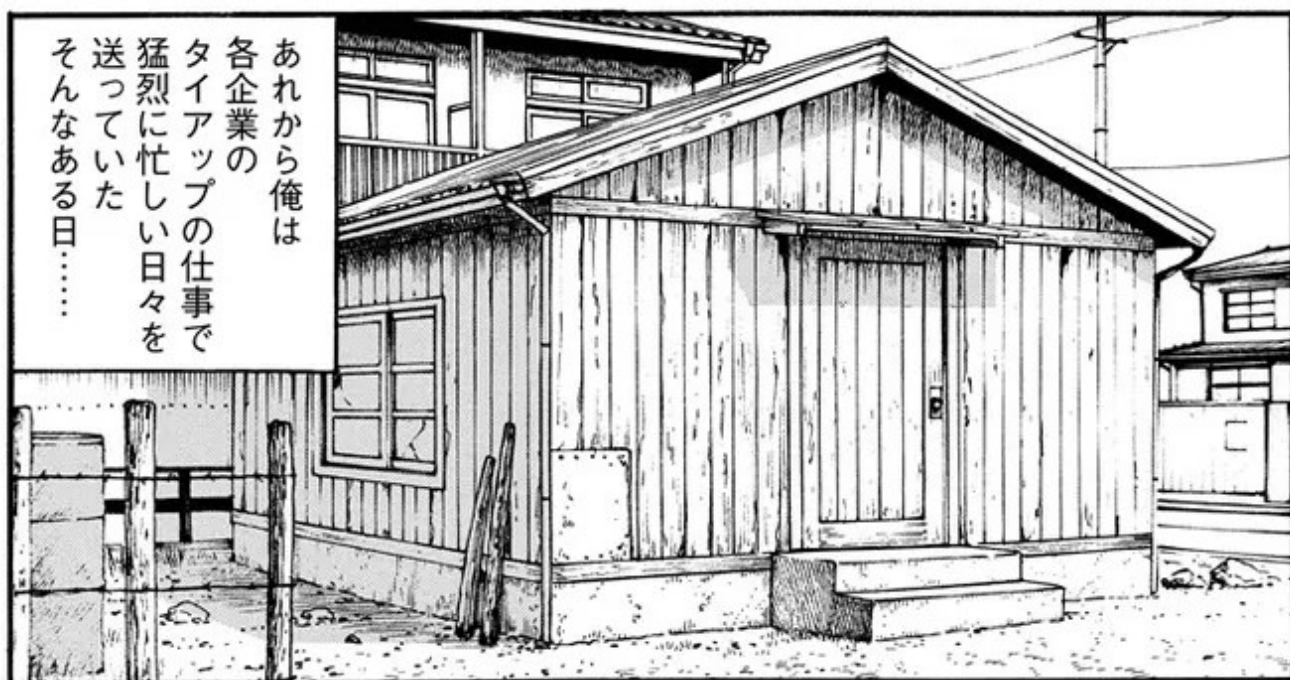




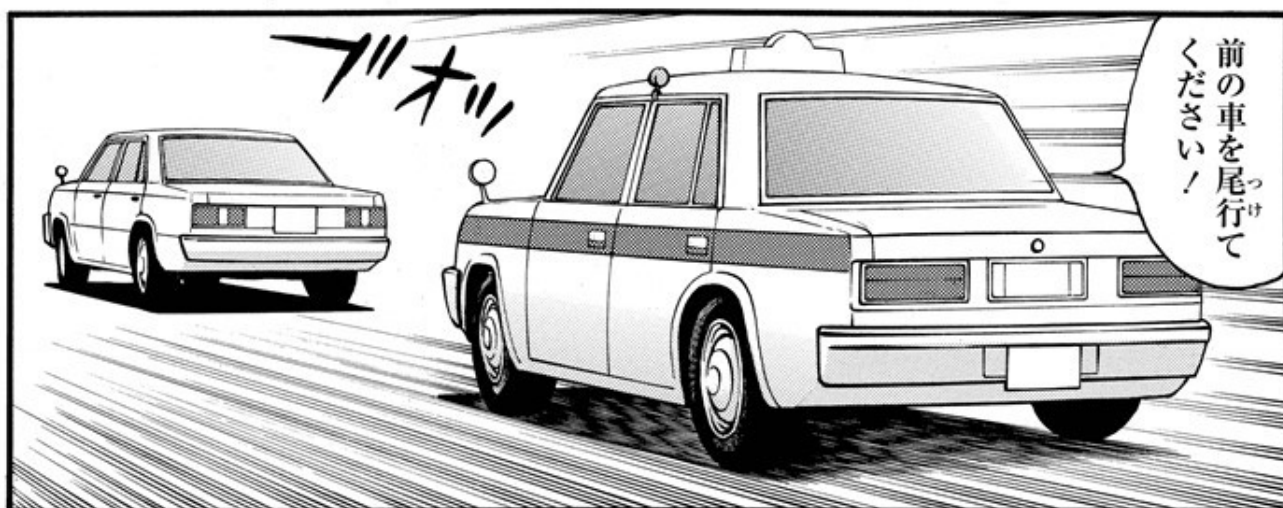




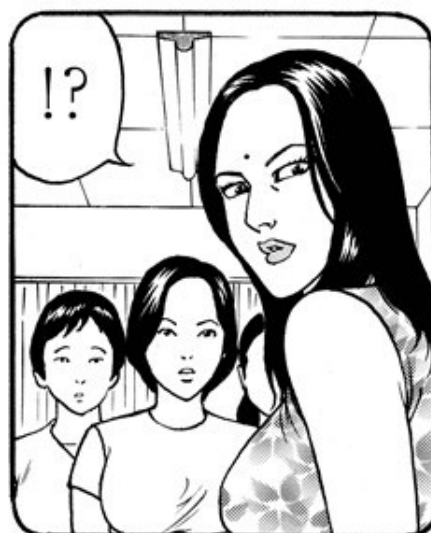
あれから俺は
各企業の
タイアップの仕事で
猛烈に忙しい日々を
送っていた
そんなある日……

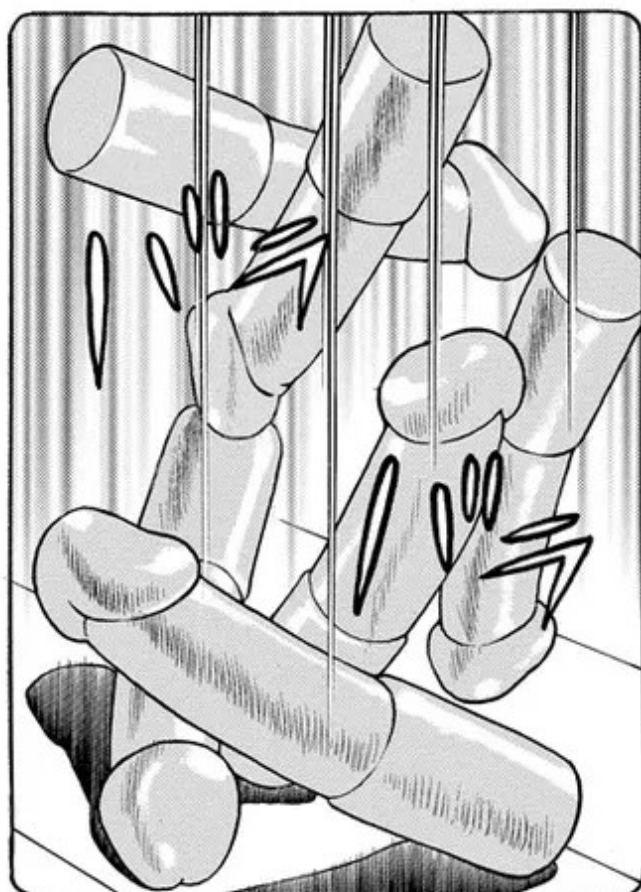




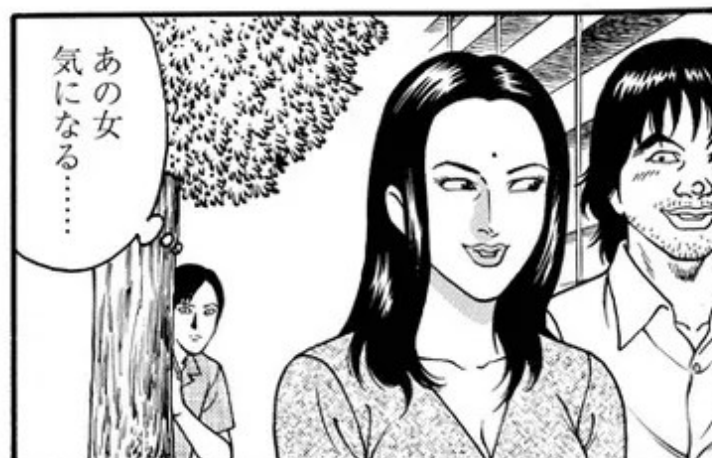


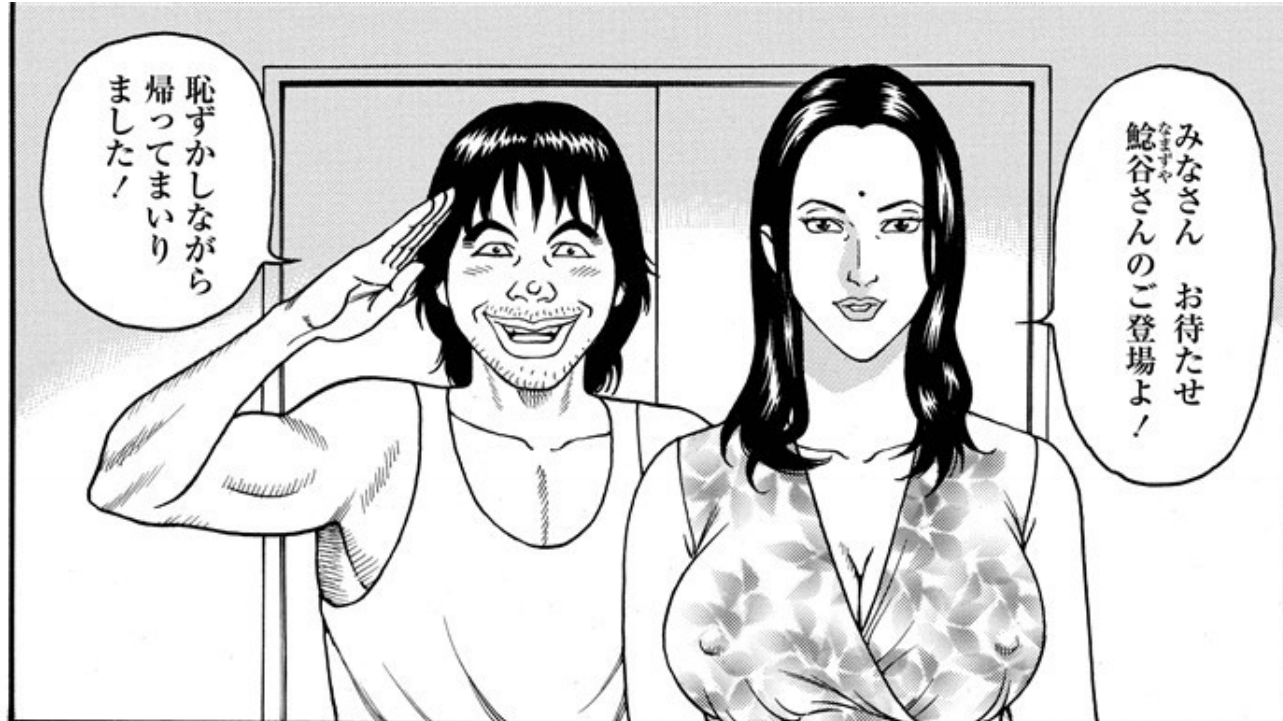








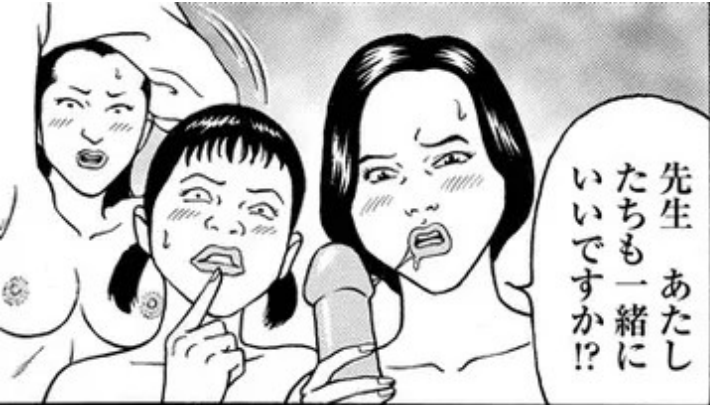








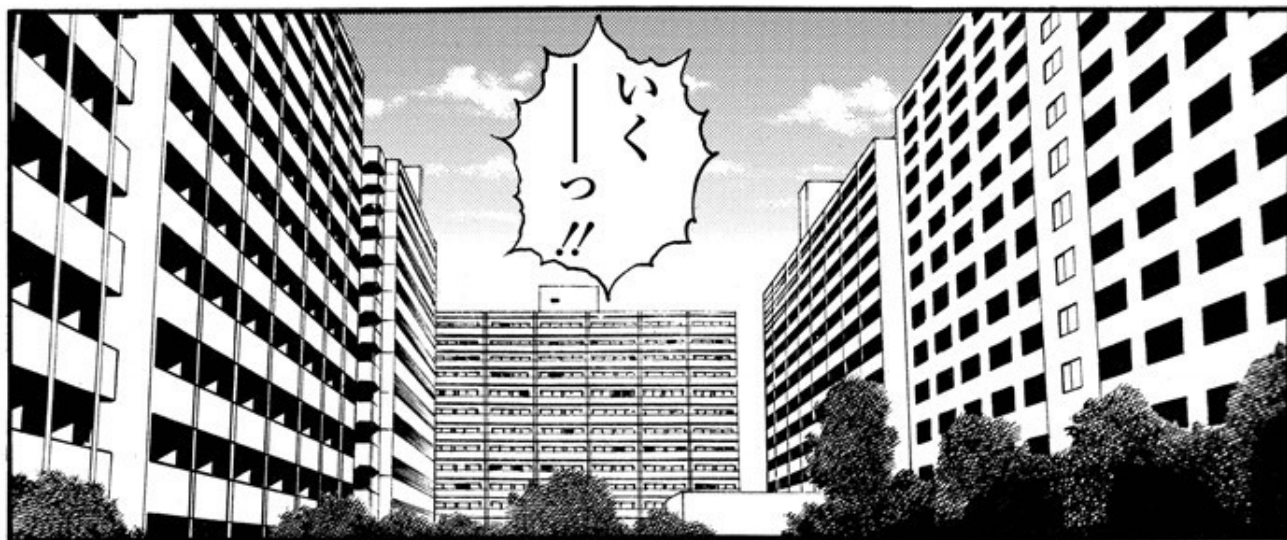


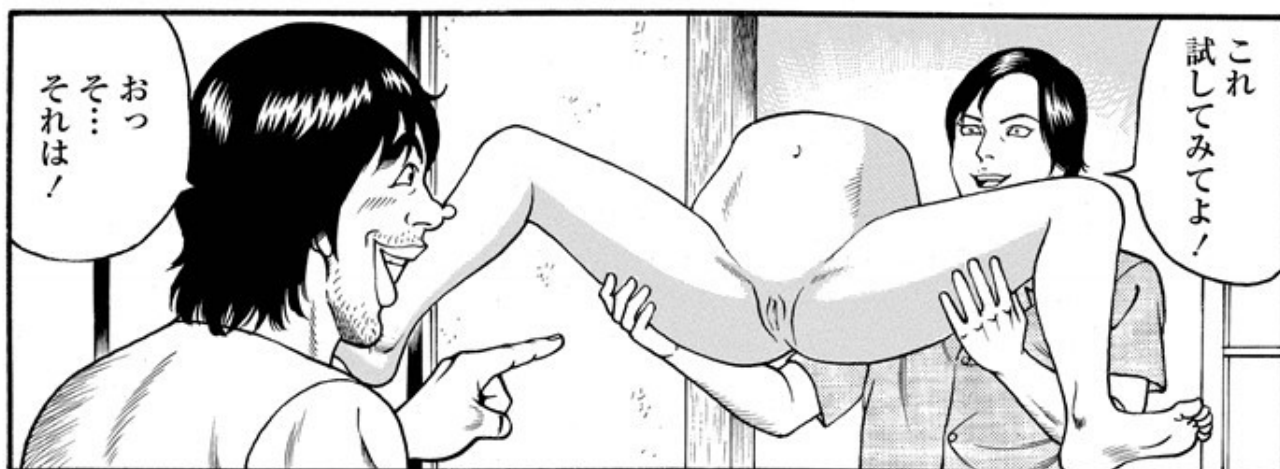






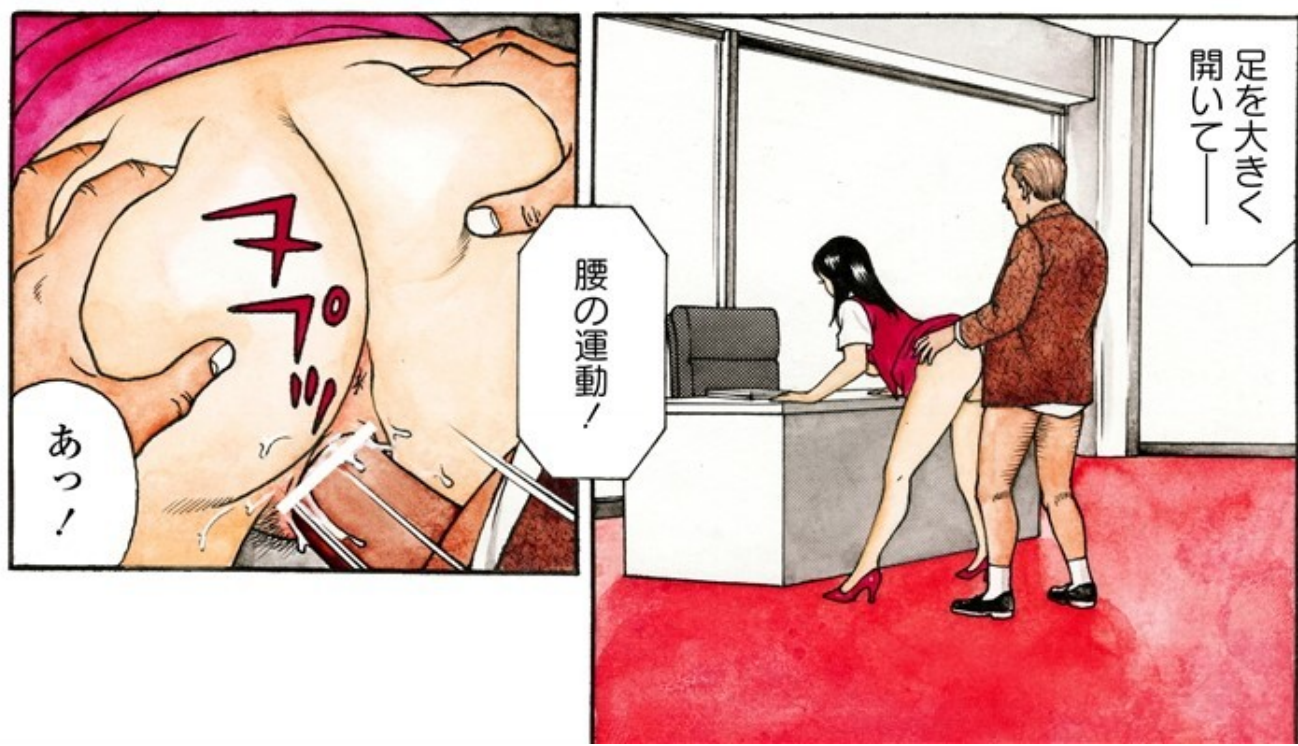
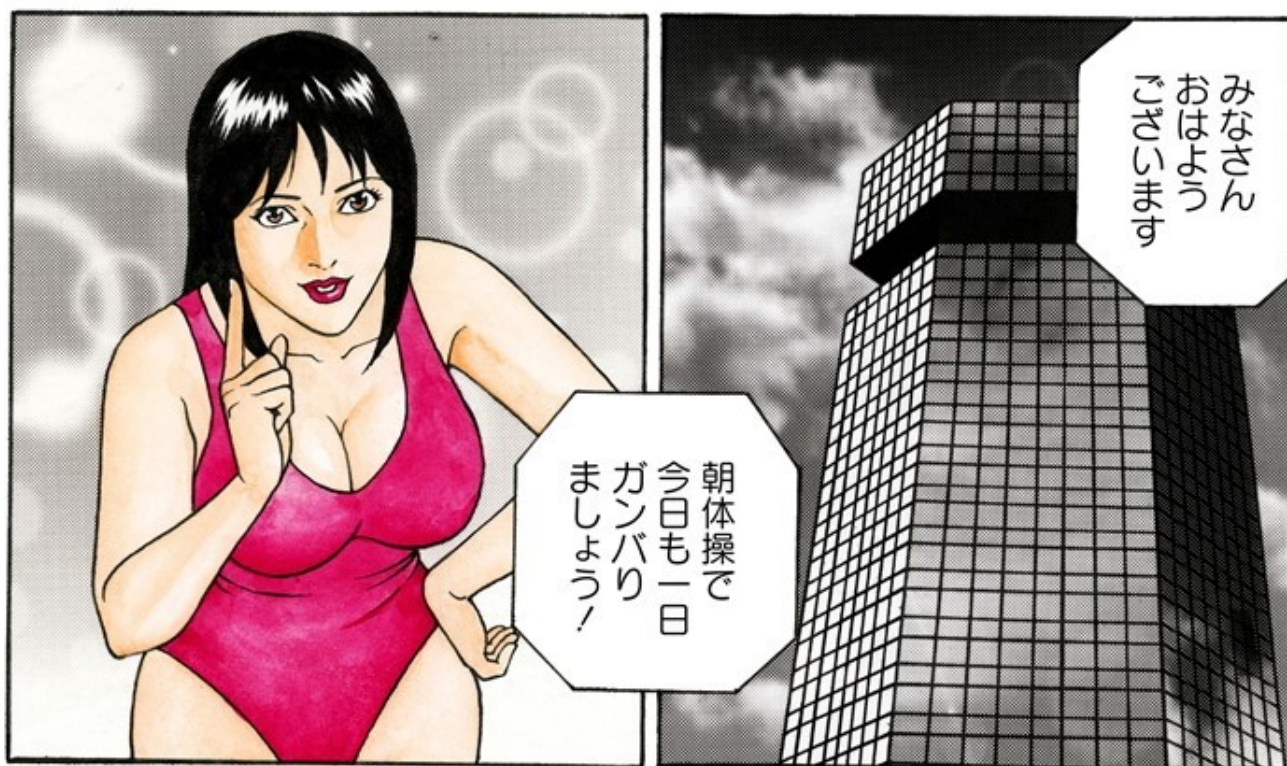






第三十五話／ヲ痴才体操













そのまま
腕を大きく
うしろへ
胸を反らせ
ましょう！



腕を回して
肩の運動
〜っ！



たまんねえ……

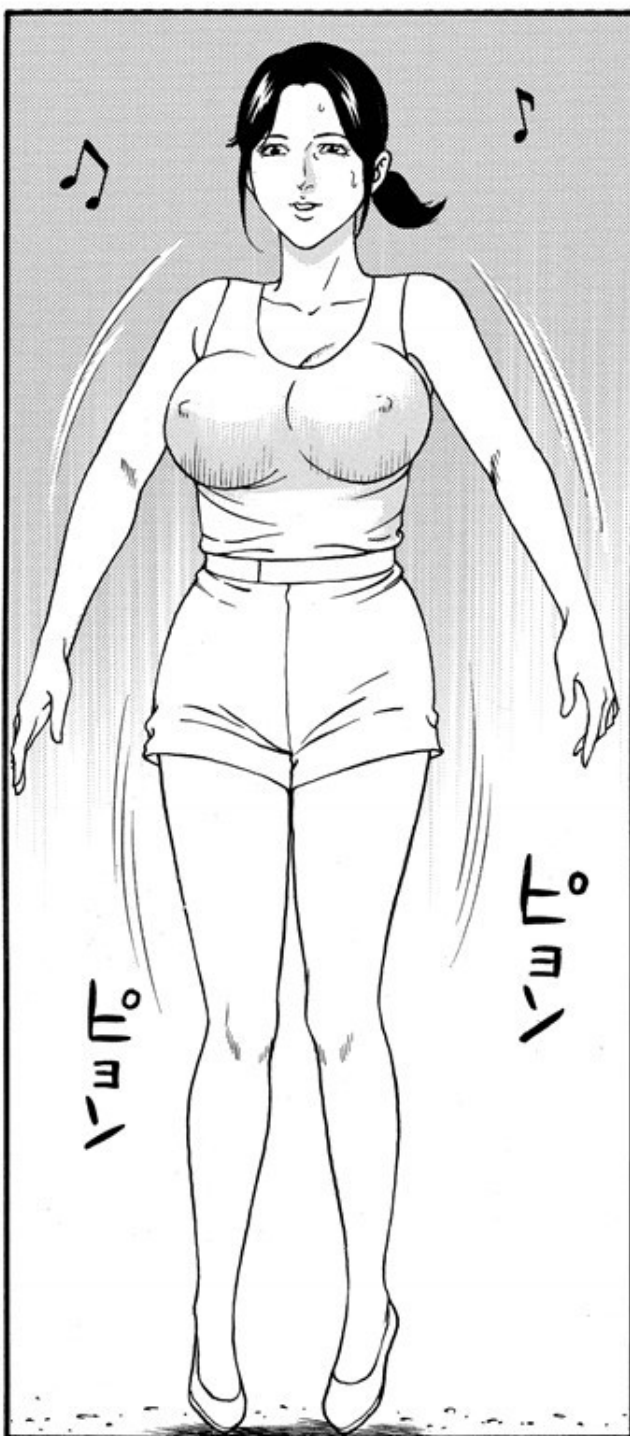
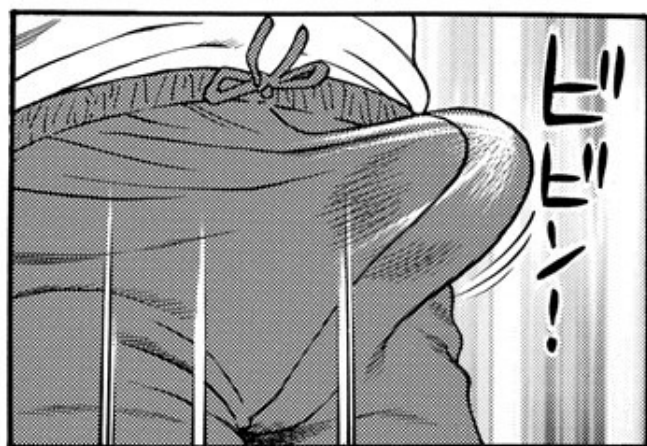
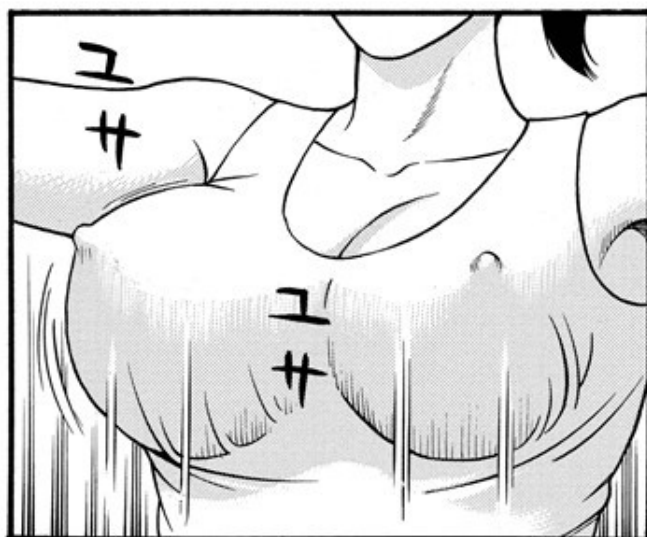


イチ

ニイ！

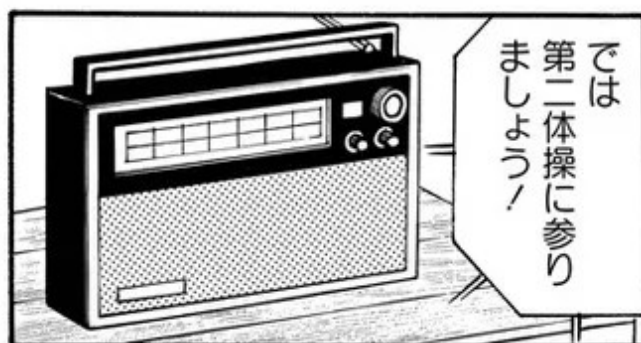








これって
本物……!?



では
第二体操に参り
ましょう!



あっ!

そんなこと
気にしないで
ちゃんと体操
しましょう!



手足の曲げ
のばし!

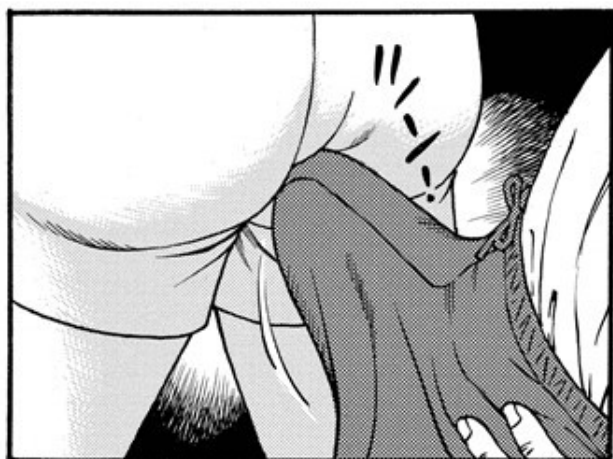


は……
はい!

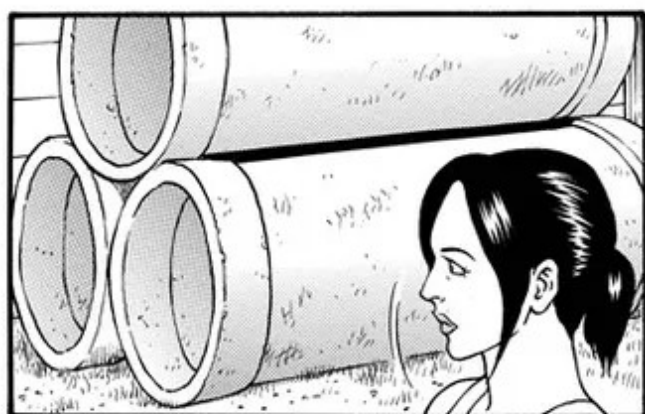
子供には
見せられないから
わたしのうしろに
来て……



それにしても
あんなのが
入ったら
どうなるの
かしら……!?









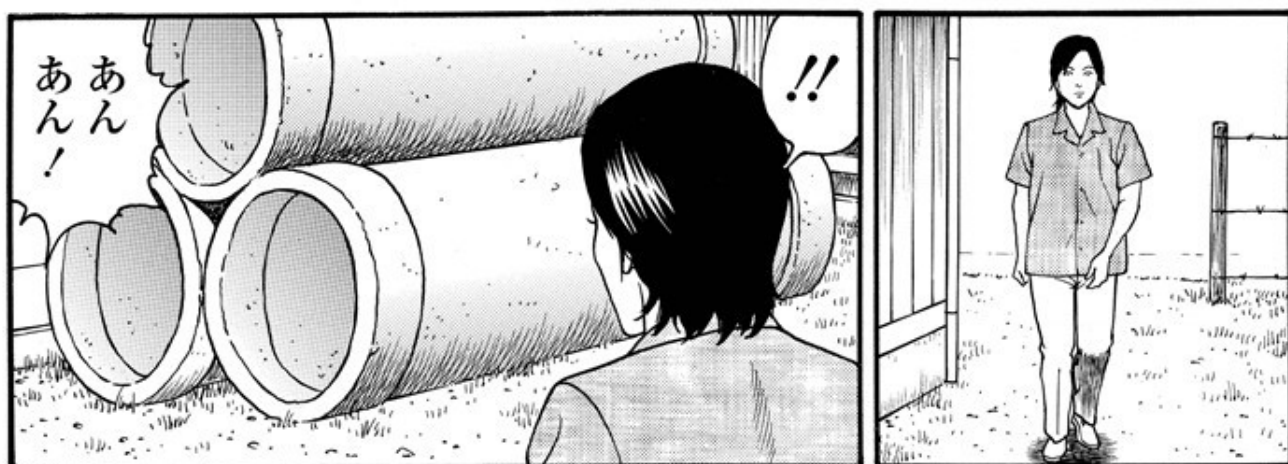








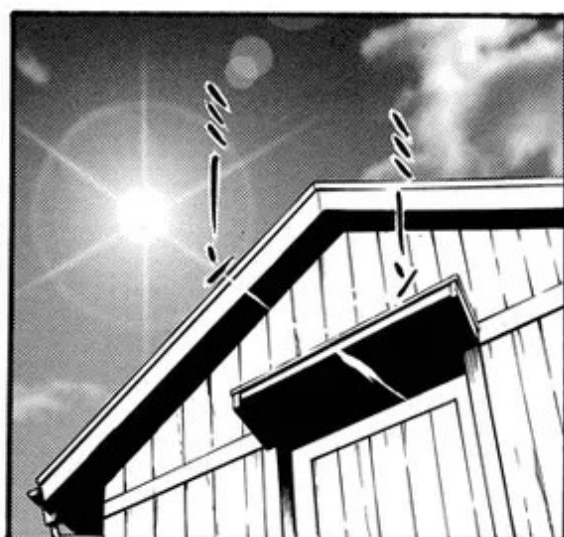




ああ——っ
いくいくっ！
いく——っ！！

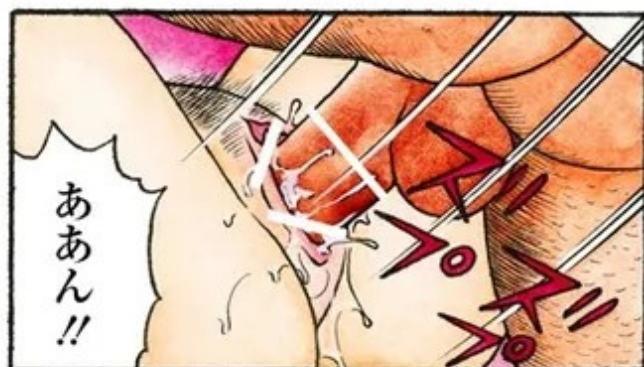
うぎゃ~~~~っ
死ぬ死ぬっ
死ぬ~~~~っ！！





第三十六話／力身がない









マコトはあいかわらず
忙しい日々を送って
いたが俺は在庫の
パイプを売りあるく
毎日だった

だが時代は
オイルショックの
影響で不況だった
……



しーん

また
留守か……

世の奥さまは
どこに行ってるんだ!?

今日は
ハズレが多いな



ゴメン
くださいーい!

カ
ラ
ッ

あっ
こんにちは!

なんの用か
知らないけど
そこ
どいてよ!

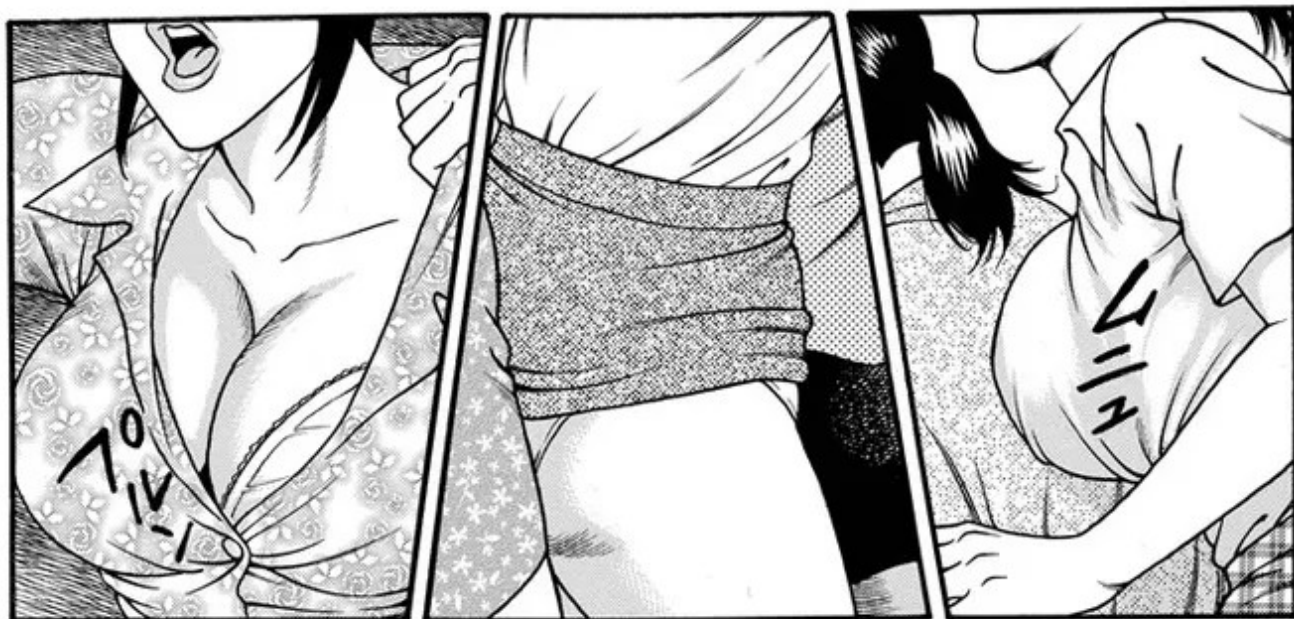
ム。シ。カ

はっ!?













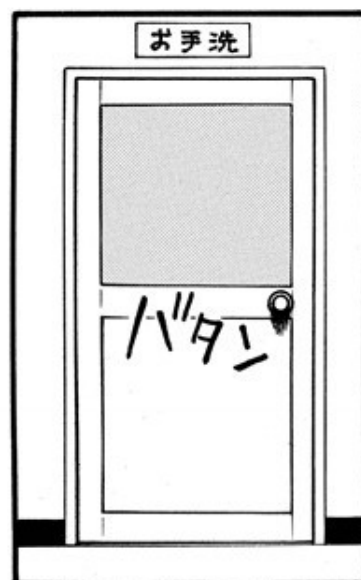
い...い...
いや...

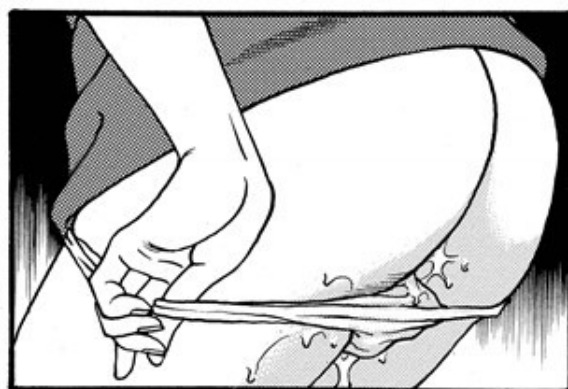


そこ
ダメよ...



















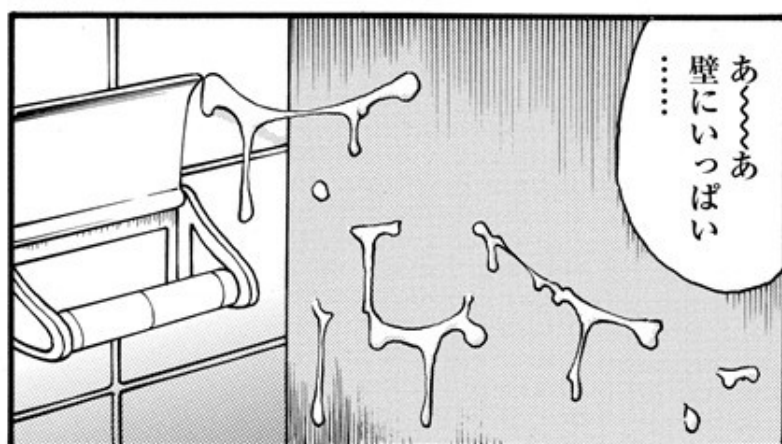


お：奥さん
俺もうっ！

ああ〜くん！
わたしも
いっちゃうわア
一緒にきて〜っつ！！

トッパ トッパ

一緒にきて





それから俺は
トイレットペーパーの
買いしめに奔走した
ほんそう



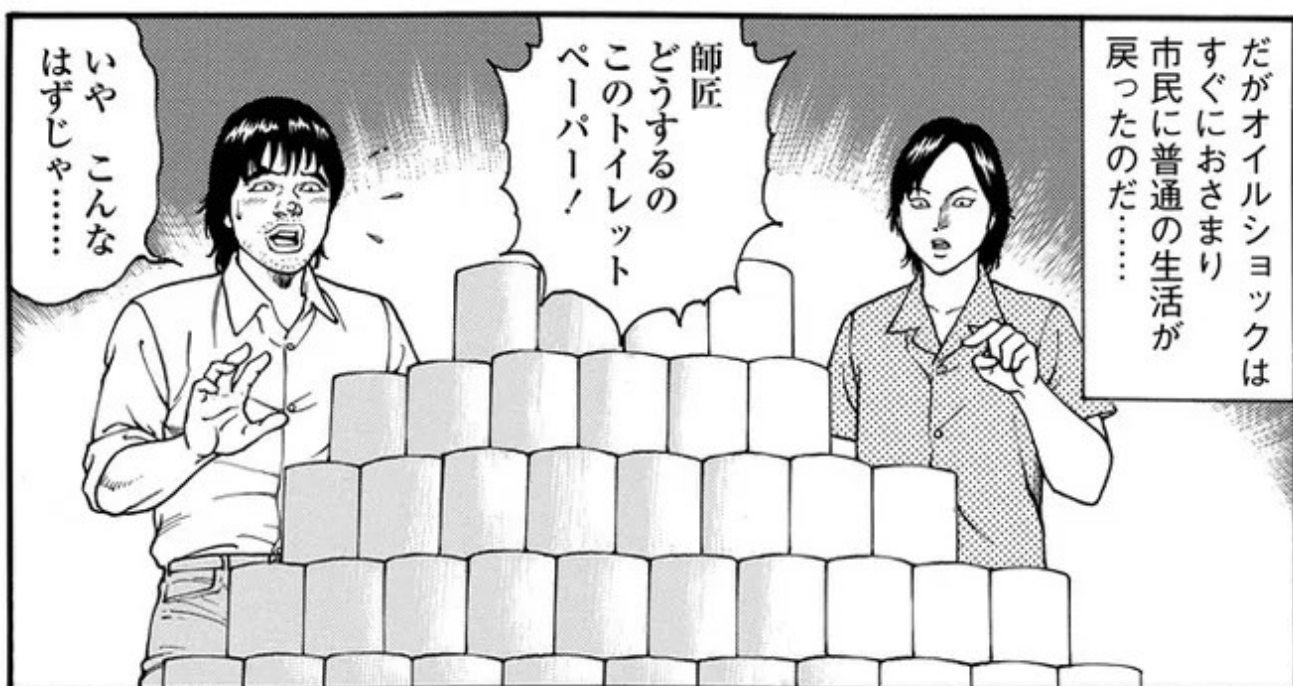
パイプとトイレット
ペーパーを
抱きあわせて
売るのが

名案だろ!?



師匠
なんでそんなに
トイレットペーパー
買いあさって
るの!?

へへッ!



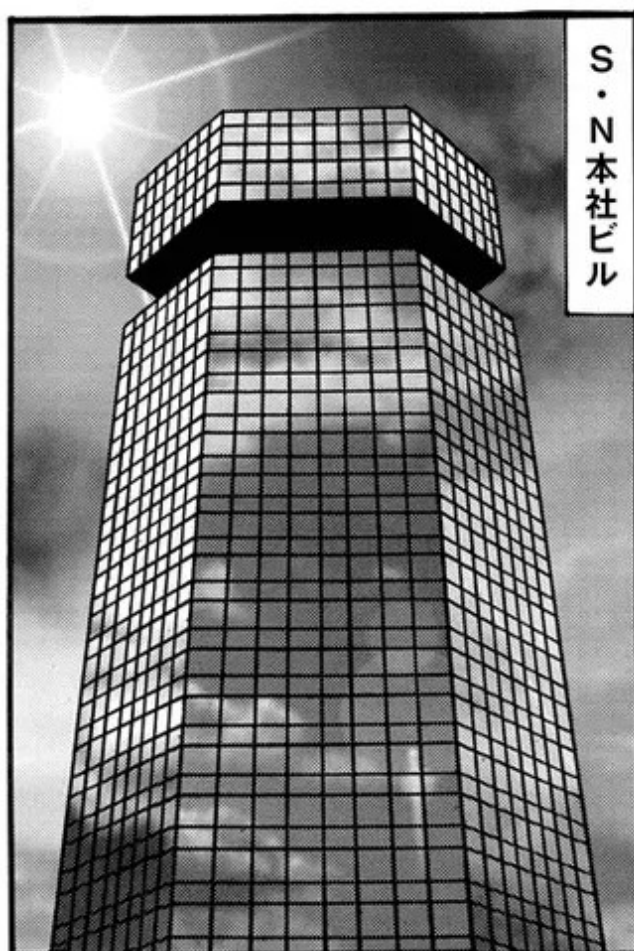
だがオイルショックは
すぐにおさまり
市民に普通の生活が
戻ったのだ……

師匠
どうするの
このトイレット
ペーパー!

いや こんな
はずじゃ……

第三十七話／記憶喪墜









こいつが天才科学者
緑川マコトだ！

こいつが持つてる
人工頭脳搭載
人型ロボットの
資料を盗んで
くること！

それが
おまえらの
仕事だ！

イエッ
サー
ボス！

場合によっては
殺してもかまわん！

フフッ
うまくすれば
億万長者だ！

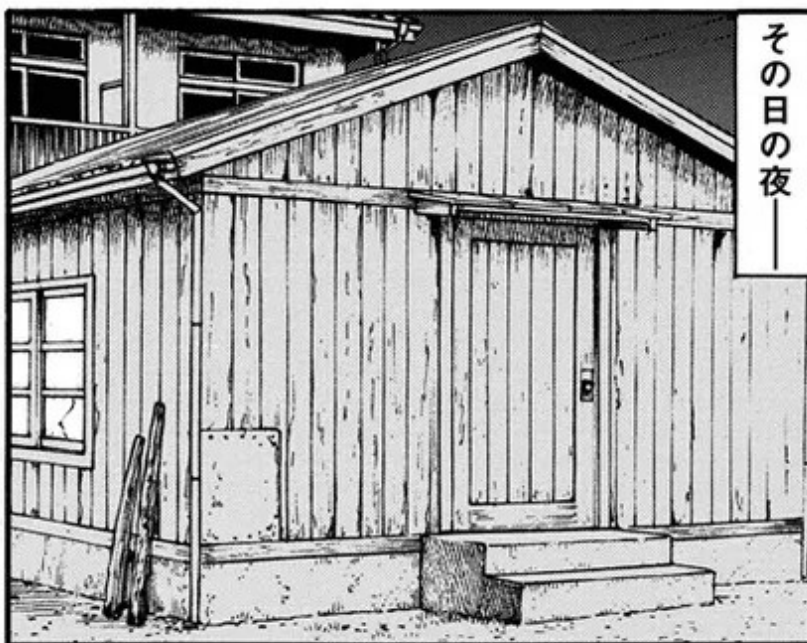
ラジャ！







その日の夜――



大きな声を出せば殺ス!

おまえら誰だ!?
なにしに來た!

おまえが作った
ロボットの研究
資料を出せ!

どこかの企業の
まわし者か……

こんなことも
あろうかと
ダミーは用意
してあるのさ……

わかったよ
渡すから
手荒なマネは
しないでくれ!

これが
研究資料だ

もう
帰ってくれ!

フフッ
緑川マコトって
男だと思ったら

その胸は
女なんだナ!

ハッ!

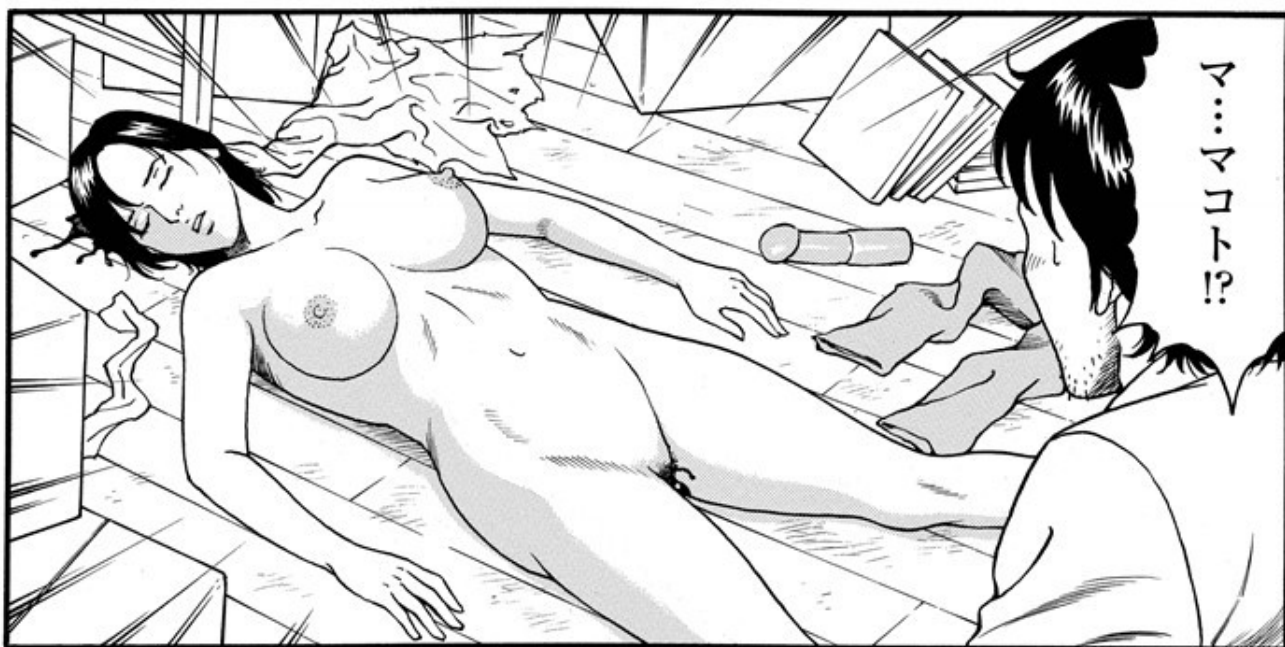
夜だしサラシ
巻いてなかった……











一週間後――

喫茶
カトレア

営業中

マコトさん
来ないわ……

もう
一時間も
過ぎてる

こんなこと
なかったのに……

み……美代さん！

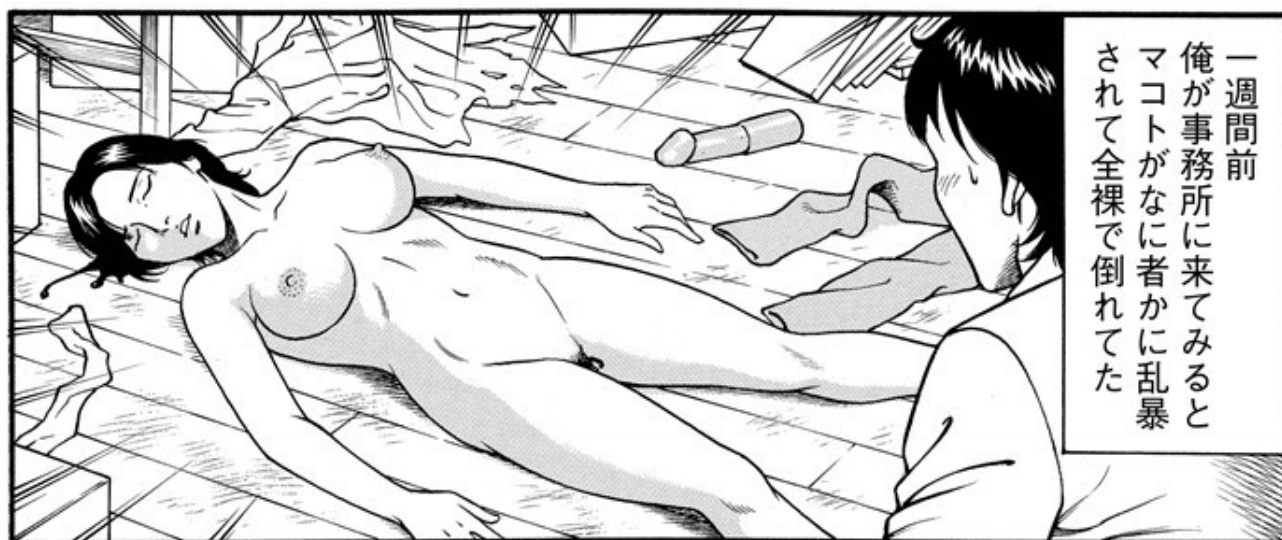
カチャ

コン
コン



第三十八話／おCかけ

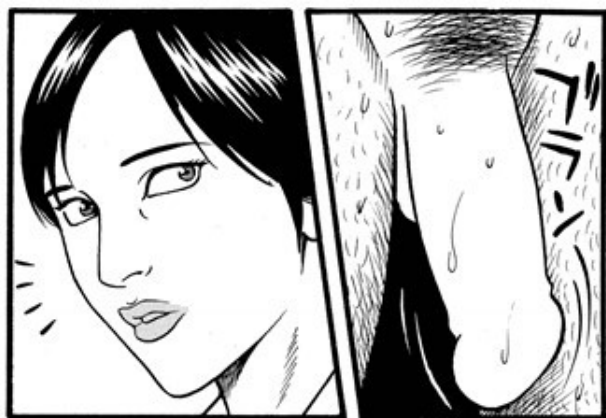




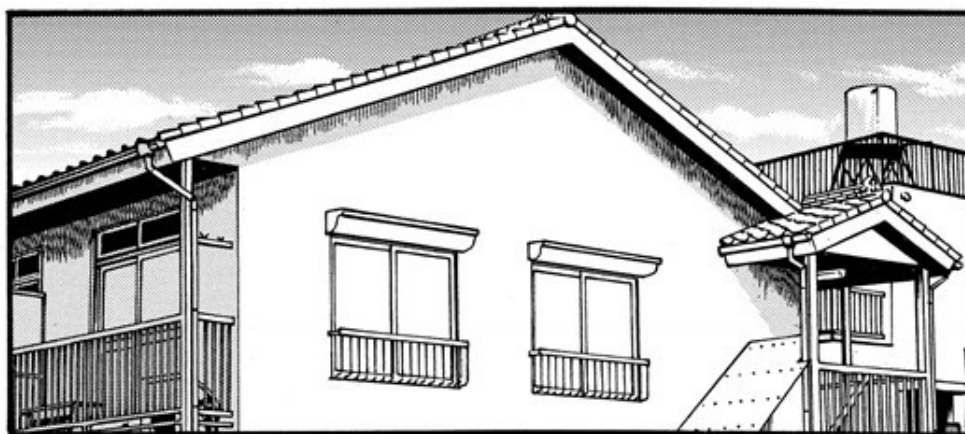


どうやら
記憶をなくして
いるようです









マコトの記憶が
戻るまでとはいえ急に
女になったマコトと
初恋の人 美代との
奇妙な共同生活が
始まった……



おかわり!

……



いや~~~~っ
美代さんの
作った料理
うまいなア!

そう!?
たくさん食べて!



イクラ!!!



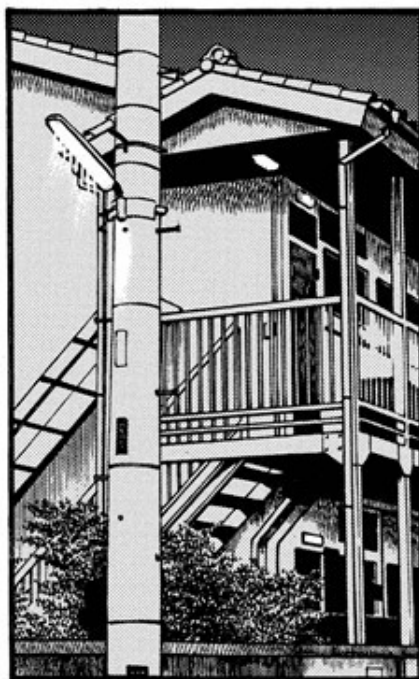
その洋服
女らしくって
すごくステキ
ですね!

ウフッ
じゃあちよっと
着てみる!?



美代さん!







お背中 流しま
しょうか……!?

わっ み…
美代さん!?

ゴメンなさい

入ってきちゃ
まずかったかしら
……!?

い…いや
そんなことは
……

それじゃ
……

わたしは彼女が
入ってくるのを
うながす役目……

ああ
すごい……

み…
美代さん!

そのためには
うんとエッチに
……

ウホッ!

なんて大きさ
しかもすごく硬いわ
……













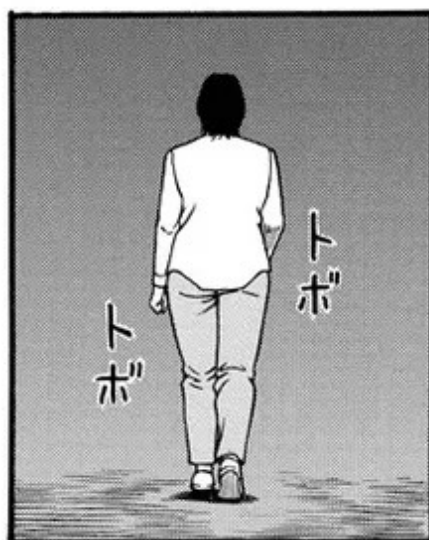
あつあつ
いくつ！

いくつ！

いっちやう
っ！！

いっちやう
っ！！

いっちやう
っ！！



最終話／おわが隷











あいつらか マコトに
乱暴したのは！

なにしてるの
早く助けに
いってあげて！

い…いや
助けたいけど
相手が悪すぎ
るよ……

このまま
なにもせず
見てるつもり！

わたしが
なんとかする
から早く！

わっ！

あっ

そ…そこでなに
してる ら…乱暴は
よしたまえ！

誰だ
おまえハ！

な…
鮎谷さん
……

おまわりさん
こっちよ
早く来て！

なにっ
ポリス！？

ノーツ
逃ゲロ！

















わたしも
よすぎて
おかしくなり
そうよオ!!

ハッハッハッ

ハッハッハッ

おおっ 最高だ
マコト!
すげえよ!!



一緒に
いきたい!!



やばい
もう限界だ!



あっ い...
いくっ!!



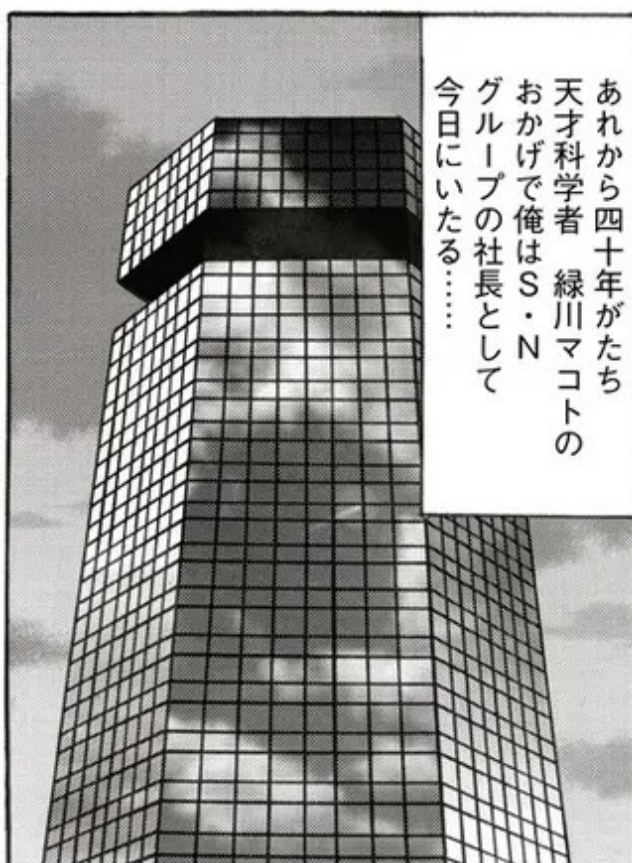
ああん
師匠
一緒に

うおお
~~~~~  
マ…マコト  
出るっ！

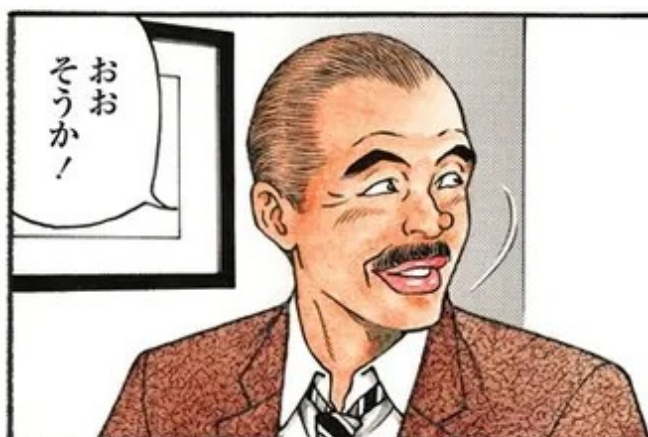
ズ  
ズ

ユ  
ッ

いくつ ああ——っ  
いっちやう——っ！！



あれから四十年がたち  
天才科学者 緑川マコトの  
おかげで俺はS・N  
グループの社長として  
今日にいたる……



おお  
そうか!



師匠  
美代さん  
直ったよ!

カチヤ



まあな

さア  
こっちに  
おいで!

ハイ  
……



アナタ  
ゴメンナサイ

一人デ  
淋シカッタ  
デショ……!?













著者——景山ロウ  
©2018 Rou Kageyama

発行——劇画王

本作品の一部、または全ての無断転載、データの複製、改変、上演、放送等は法律で禁止されています。